(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3118317号
(U3118317)
(45)発行日　平成18年1月26日(2006.1.26)　(24)登録日　平成18年1月4日(2006.1.4)

(51)Int.Cl.　F I
H04M 1/21 (2006.01)　H04M 1/21 Z
H04M 1/00 (2006.01)　H04M 1/00 V

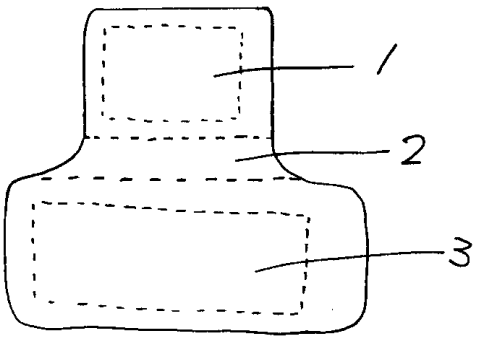
評価書の請求 未請求　請求項の数 3　書面　(全 5 頁)

(21)出願番号　実願2005-7819(U2005-7819)
(22)出願日　平成17年8月25日(2005.8.25)

(73)実用新案権者　505197861
玉置　訓央
愛知県愛知郡長久手町作田１丁目１０１７番地
(72)考案者　玉置　訓央
愛知県愛知郡長久手町作田１丁目１０１７番地

(54)【考案の名称】携帯電話の着信を通知する装置

(57)【要約】
【課題】　携帯電話機の着信時の振動を感知し、携帯電話機が鞄の中などに入っていて携帯電話機の着信音が聞こえない場合でも着信を通知する。
【解決手段】　マナーモードに設定もしくは着信音とバイブレーションを併用する設定にしてある携帯電話機に、振動センサーを内蔵した携帯電話ホルダー型の送信機を密着させ、携帯電話着信時の振動を振動センサーにより感知し、送信機から受信機へ電波を送り、受信機から音を鳴らすまたは受信機を振動させるまたは受信機から音を鳴らしながら振動することにより着信を通知することを特徴とする。
【選択図】　図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
携帯電話機に密着させた携帯電話ホルダー型の送信機が、着信時振動モードに設定された携帯電話機の着信による振動を送信機内部の振動センサーにより感知し、送信機から受信機へ電波を送り、電波を感知した受信機が音を鳴らして携帯電話機の着信を知らせることを特徴とする携帯電話の着信を通知する装置。
【請求項２】
前記受信機が送信機からの電波を感知し、受信機を振動させることにより携帯電話機の着信を知らせることを特徴とする請求項１記載の携帯電話の着信を通知する装置。
【請求項３】
前記受信機が送信機からの電波を感知し、受信機が音を鳴らすもしくは受信部が振動するもしくは受信機が音を鳴らしながら振動することをスイッチにより選択できることを特徴とする請求項１記載の携帯電話の着信を通知する装置。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、携帯電話機に密着させた振動センサー内蔵の送信機が携帯電話機の着信を振動により感知し、受信機に電波を送り、受信機から音を鳴らすもしくは受信機を振動させるもしくは受信機が音を鳴らしながら振動することを特徴とする携帯電話の着信を通知する装置に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、携帯電話の着信を通知する装置は、携帯電話の着信を感知し、表示器に表示するだけのものであった。
【０００３】
【特許文献】特開２００３－１７４４９３号公報
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
表示器による表示だけでは、携帯電話機が着信していることを明確に気づかせることが困難であり、また携帯電話機本体が着信音をならす場合でも、鞄の中など密閉された場所にある場合は聞こえづらく、着信に気づかないという欠点があった。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本考案は、マナーモードに設定もしくは着信音とバイブレーションを併用する設定にしてある携帯電話機に、振動センサーを内蔵した携帯電話ホルダー型の送信機を密着させ、携帯電話着信時の振動を振動センサーにより感知し、送信機から受信機に電波を送り、受信機から音を鳴らすもしくは受信機を振動させるもしくは音を鳴らしながら振動することにより着信を通知する。
【０００６】
上記振動センサーにおいて、振動センサーを１秒以上の連続振動作動時に着信と判断することにより、鞄の中に入れたまま移動したときに誤作動を起こさないようにするものである。
【０００７】
上記送信機及び受信機を１対とし、送受信機ごとに格ＩＤを付与して、混信及びＩＤが当たらない他送信機との通信をしないようにする。
【考案の効果】
【０００８】
本考案の携帯電話の着信を通知する装置にあっては、携帯電話が鞄の中にあり着信音が聞こえづらい状況においても、受信機により着信したことを音または振動により確認でき

、携帯電話から離れた場所にいても、送受信機が電波の届く範囲であれば容易に着信を知ることができる。また、送受信機ごとにＩＤを付与するので、他の携帯電話機の着信と混同することがない。

【考案を実施するための最良の形態】

【０００９】

本考案の実施形態を、以下の実施例に従って説明する。

まず着信の通知を行う携帯電話機において、マナーモードに設定もしくは着信音とバイブレーションを併用する設定にしておき、着信があると携帯電話機のバイブレーションが作動するようにしておく。次に、振動センサーを内蔵した携帯電話ホルダー型の送信機を、振動センサー部が携帯電話機と密着するようにセットしておく。受信機は小型の物で、通し穴にネックレスなどを通す事が可能で、またクリップタイプにすれば襟章のように上着などに付けることが可能となり、人間の胸のあたりにセットすることができる。携帯電話機に着信があると、着信によるバイブレーションを振動センサーが感知し、送信機より受信機へ電波が送信される。電波を受信した受信機はスピーカー部から音を鳴らすまたは受信機を振動させるまたは受信機から音を鳴らしながら振動させ、携帯電話に着信があることを通知する。受信部が胸のあたりにあるので、鞄の中やポケットの中にある携帯電話機の着信音よりもはっきりと着信を知ることが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【００１０】

【図１】本考案にかかる携帯電話の着信を通知する装置の送信機の概略図である。

【図２】本考案にかかる携帯電話の着信を通知する装置の送信機を折りたたんだ状態の概略図である。

【図３】本考案にかかる携帯電話の着信を通知する装置の受信機で音声のみで通知する装置の概略図である。

【図４】本考案にかかる携帯電話の着信を通知する装置の受信機で振動のみで通知する装置の概略図である。

【図５】本考案にかかる携帯電話の着信を通知する装置の受信機で音声と振動で通知する装置の概略図である。

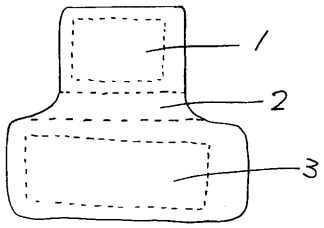
【図６】本考案にかかる携帯電話の着信を通知する装置の受信機の側面の概略図である。

【符号の説明】

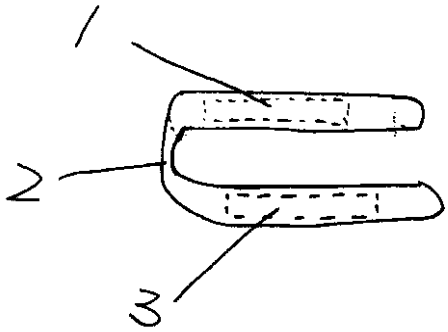
【００１１】

１　振動センサー
２　折り返し部
３　電波送信部
４　ネックレス通し穴
５　スピーカー
６　振動部
７　切り替えスイッチ
８　クリップ

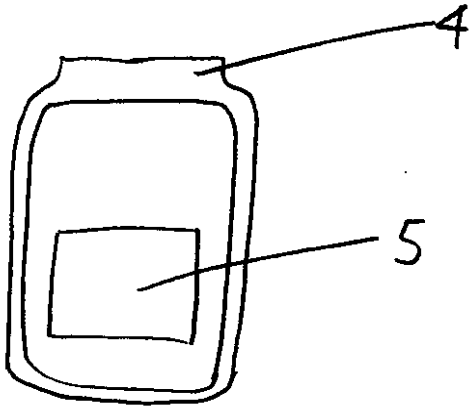
【図１】



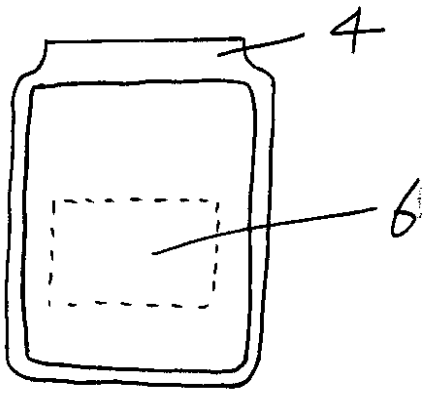
【図２】



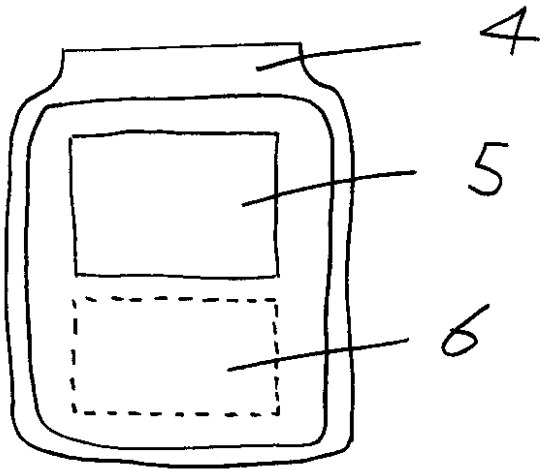
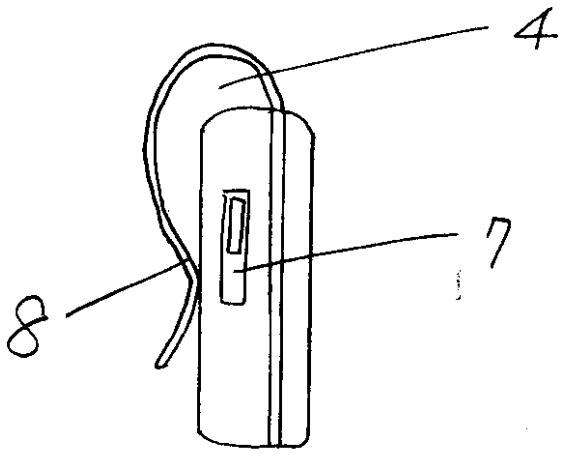
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】